

製品名: GCLM ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21523**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:500,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:31kD;Observed MW:31kD

抗原情報

遺伝子名	GCLM GCLM;GLCLR;Glutamate--cysteine ligase regulatory subunit;GCS light chain;Gamma-ECS
別名	regulatory subunit;Gamma-glutamylcysteine synthetase regulatory subunit;Glutamate--cysteine ligase modifier subunit
遺伝子 ID	2730.0
SwissProt ID	P48507
免疫原	ヒト GCLM の合成ペプチド

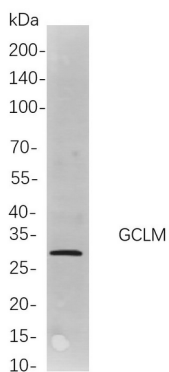
背景

細胞局在: 細胞質。グルタミン酸システインリガーゼ (γ -グルタミルシステインシテターゼとも呼ばれる) は、グルタチオン合成における最初の律速酵素である。この酵素は、重触媒サブユニットと軽調節サブユニットの 2 つのサブユニットからなる。 γ -グルタミルシステインシテターゼ欠損は、いくつかの溶血性貧血に関連していることが示唆されている。選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写産物バリエーションが生じる。[RefSeq 提供、2015 年 4 月]

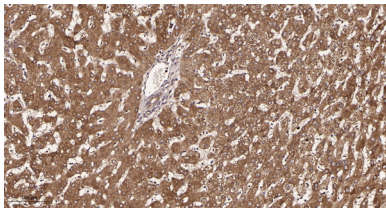
研究分野

-

画像データ



NIH-3T3 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。GCLM ウサギ mAb を使用。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を使用した。



パラフィン包埋ヒト肝組織の免疫組織化学分析。1、GCLM ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2、EDTA pH 9.0 を使用して抗体を回復させた (>98°C、20 分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。